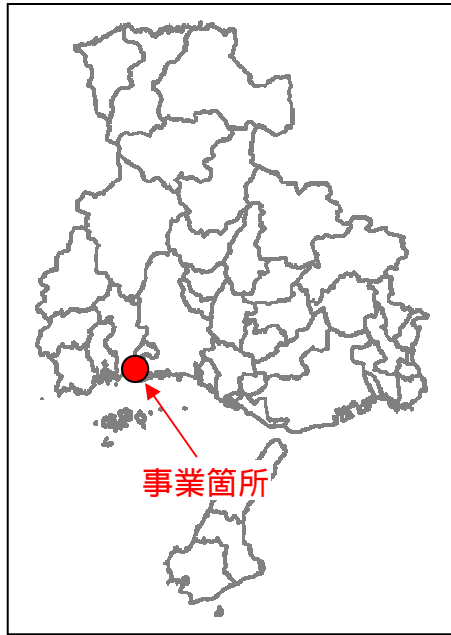


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 ( 木本 和彦 )	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

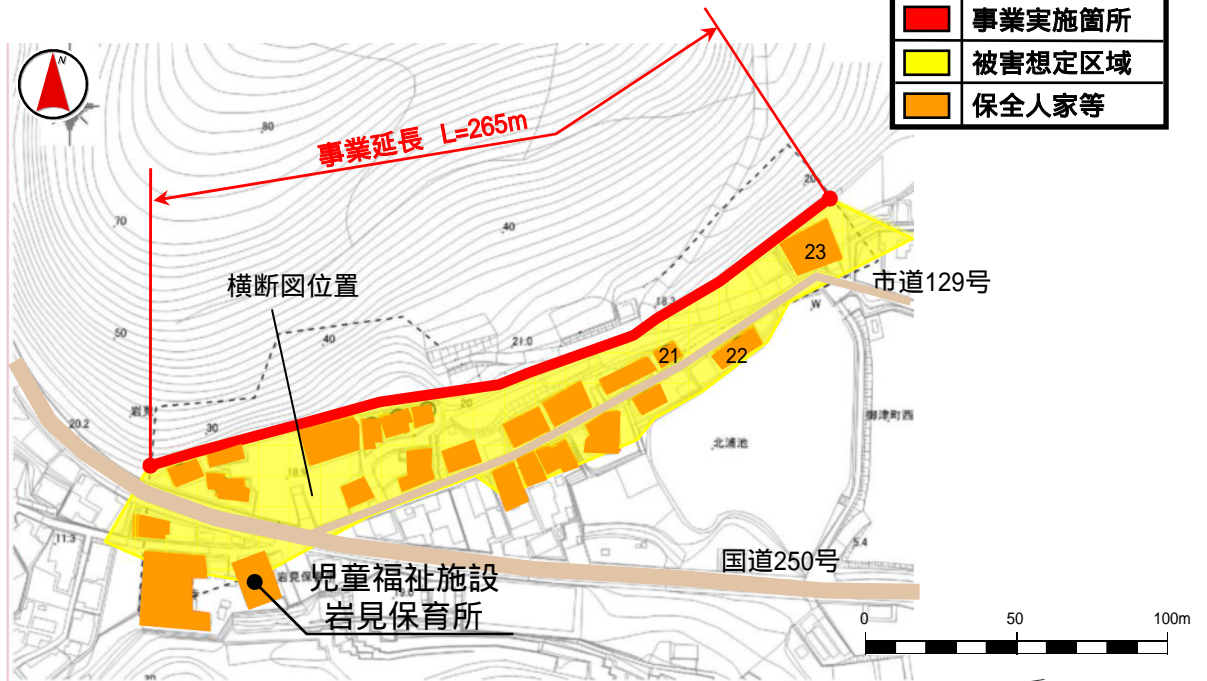
事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>いわみ</small> 岩見(4)	たつの市 <small>みつちょういわみ</small> 御津町岩見	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
たつの市御津町岩見				H 2 4	H 2 6
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家23戸、児童福祉施設（災害時要援護者関連施設）があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 2 6 5 m  〔負担割合 国 : 4 7 . 5 % 県 : 4 7 . 5 % 地元 : 5 . 0 %〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道250号の道の駅みつより、東へ約1.5kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。</li> <li>・ 斜面は荒廃しており、危険な状態。</li> </ul>			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延長265m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。</li> <li>・ 保全対象は、人家23戸、児童福祉施設「岩見保育所」(災害時要援護者施設)および国道250号(48m)、市道(129m)。</li> </ul>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> </ul>			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の主旨について、十分な理解を得られることから工事着手が見込め、円滑な事業の執行が可能である。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全対象には、災害時要援護者施設である岩見保育所および人家23戸があり、斜面が荒廃していることから、早期着手に対する地元要望が強い。</li> </ul> <p>以上より、H24年度に事業着手し、早急な対策が必要である。</p>			



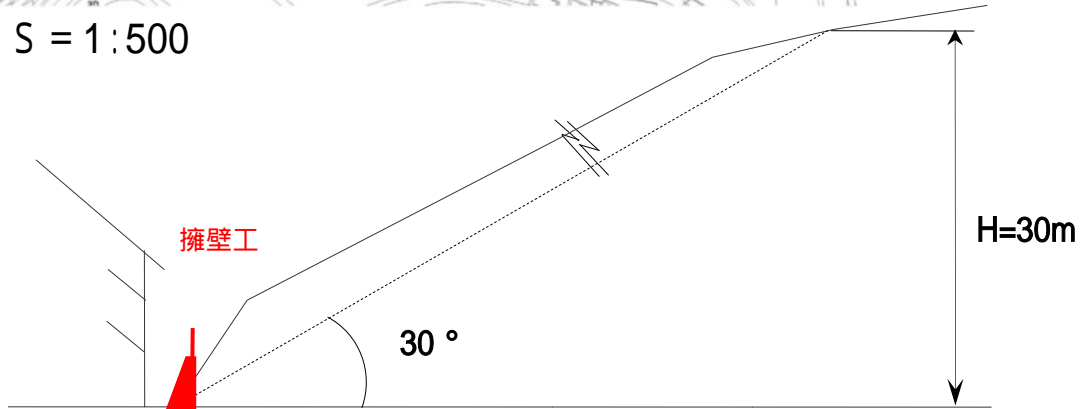
位置図  
1:50,000



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	被害想定区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span>	保全人家等



横断図 S = 1:500



箇所名	岩見(4)地区
-----	---------